**2025　固体物理学I　自己評価シート&アンケート**

学籍番号：　　　　8223036　　　　　　　氏名：　　　栗山淳

|  |  |
| --- | --- |
|  | 評価  (そう思う)5・4・3・2・1 |
| 「センサーと固体物理学」と「格子振動」について、十分に情報の収集と発表内容に向けた事前準備を十分に行いましたか | 4 |
| 発表資料を作成する際に、固体物理学の応用デバイスと格子振動について、内容の理解が進みましたか | 4 |
| 調査した内容を十分に理解した上で発表を行うことができましたか | 4 |
| 発表資料(PowerPoint)を作成する際に、聴衆に理解しやすいような  構成・アニメーションに留意して作成しましたか | 3 |
| 調査は授業時間内に行うことを推奨していますが、十分でしたか  （5：十分、〜〜　1：不十分） | 3 |
| 発表のリハーサルは十分に行いましたか | ４ |
| 時間（センサー：15分、格子振動：25分）内に発表できましたか | 3 |
| 「1. センサー」発表の際に、AI要約された内容は、選択した「センサー」技術的概要を一般向けに十分に解説した内容と考えられますか | 4 |
| 「2. 格子振動」発表の際に、聴衆を意識して、聴衆に理解してもらえるような発表ができましたか | 4 |
| 自身の発表用に十分に調査予習をした状態で、他班の発表を聞き相互に教え/学ぶ授業形態ですが、各テーマ内容の理解は進みましたか | 4 |
| 他の人の発表を見て、内容のまとめ方や発表の方法など、参考になるところがありましたか | 4 |
| 今回の自分の発表を自己採点すると評価はいくつですか  （5：秀、4：優、３：良、２：可、1：不可） | 4 |

(1) 本授業で実施したアクティブラーニング方式の授業について感想を記載してください。

この授業の形式は従来の授業形式と異なり，ただ授業の内容を聞くだけの受け身ではなく主体的に知識を習得する良い機会となった。他班の発表を聞くことで，自分の担当テーマ以外の知識も効率的に得ることができ，自分が担当したテーマでも調べきれなかった内容や間違って覚えていた内容を再確認することができて良かった。

(2) 発表に関して、自分の得意だった点と不得意だった点について振り返ってください。

特異だった点は，発表資料の構成をし加kぅ的に分かりやすくするためのアニメーションや図の配置に工夫を凝らした点です。特にセンサーの発表では専門的な内容を内容を分かりやすく説明するために図の活用や誰もがイメージしやすい具体例を組み込みスライドを作成しました。不得意な点は発表時の時間配分です。特に格子振動の発表では，説明した内容が多く，時間内に収めるための取捨選択が難しく，発表内容量と時間の調整が十分にできていなかった。

(3) この授業では、皆さんにとってどのようなものが得られたと思われますか。

この授業を通して，固体物理の理論的な知識だけでなく，それが実際の応用デバイスにどのようにつながっているのかという視点を得ることができた。また，情報収集能力，発表資料の作成スキル，そして人前で分かりやすく説明するプレゼンテーション能力が向上したと感じた。

(4) 少人数グループワークについて良かった点、および難しかった点に関して振り返ってください。

小人数グループワークの良かった点は，意見交換ができた点です。各メンバーが異なる考え方を持っているので，一人では築けないようなアイデアや情報を共有でき，内容の質を高めることができた。難しかった点はスライドを作成するための期限などがメンバーと合わず，発表の練習などがうまくできなかった点です。

(5) この授業で改善したほうがいいという点を挙げてください。その他、お気付きの点について記載してください。

改善点としては発表準備のための授業時間アイでの調査時間をもう少し確保してもらえるとより質の高い発表に繋がると感じました。特に格子振動の部分では。また，今回の授業の内容は専門的な内容が多く含まれるので，調査の導入部分や発表に対する具体的なフィードバックを全体通してでもいいので授業の最初の講義か最後の講義で話して欲しかったです。